

動薬協会発 33 号

平成24年1月27日

社団法人日本動物用医薬品協会
会 員 各 位

社団法人 日本動物用医薬品協会
理事長 岡本 雄平
(公印省略)

台湾における口蹄疫の続発に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

当協会の業務運営につきましては、日頃からご支援、ご協力を頂きお礼申し上げます。
さて、標記のことについて、農林水産省消費・安全局動物衛生課長より通知がありましたのでお知らせします。



23消安第5338号
平成24年1月24日

社団法人 日本動物用医薬品協会理事長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

台湾における口蹄疫の続発に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、別添のとおり各都道府県畜産主務部長宛て通知しましたので、御了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いいたします。



写

23消安第5338号
平成24年1月24日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

台湾における口蹄疫の続発に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

台湾における口蹄疫の発生については、直近では、昨年10月30日に澎湖（ホウコ）県馬公市で、同年12月7日に桃園県蘆竹（ルーヂュー）市で、同年12月19日に台南市で相次いで確認されており、これらについては「台湾における口蹄疫の新たな発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について」（平成23年11月8日付け23消安第4102号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）等によりお知らせし、広く畜産関係者等への周知及び農場における飼養衛生管理基準の遵守の徹底等を御指導いただくよう、お願いしたところです。

今般、台湾当局から国際獣疫事務局（OIE）に対し、本年1月19日に新たな口蹄疫の発生が確認された旨、通報されました。別添のOIE情報等によると、本事例は、台湾本島の屏東（ヘイトウ）県から澎湖島（澎湖県馬公市）に輸送され、検疫所で係留中の豚に臨床症状（水疱）が認められ、PCR検査の結果が陽性となったものです。

今回の事例も含め昨年10月30日以降の4件の発生事例については、全て豚で水疱等の典型的な症状が認められており、豚は口蹄疫ウイルスの“増幅動物”であることから、大量のウイルスが体内で増幅され、環境中に放出されていると考えられます。また、春節を迎え、台湾内外における人の動きや豚の流通が活発化しており、口蹄疫ウイルスの我が国への侵入も危惧されるところです。

つきましては、台湾及び周辺諸国の口蹄疫の発生状況を別添のとおり更新しましたので、適宜御活用の上、引き続き、家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）に基づく飼養衛生管理基準の遵守について畜産関係者等への指導の徹底をお願いいたします。

なお、今後も海外における口蹄疫等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、御留意ください。

<農林水産省ホームページ：家畜の疾病に関する情報>

URL：http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/index.html

【OIE情報等1/24】台湾（澎湖県 馬中市）における口蹄疫の発生について

平成24年1月24日

動物衛生課

出典：OIEホームページ等

http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=11538

台湾における口蹄疫の発生について、OIEへ報告(1/23)がありましたのでお知らせいたします。

【概要】

- ・発生数：1件（緊急通報）
- ・発生日：2012年1月19日
- ・確定日：2012年1月21日
- ・血清型：O型

【発生状況】

- ・発生場所：台湾 澎湖県 馬中市
- ・概要：

台湾本島（屏東県）から澎湖島へ輸送され、検疫所で係留中の肥育豚のうち数頭から水疱が発見された。国立研究所にてRT-PCRを行った結果、口蹄疫血清型O型陽性。

淘汰、施設の清掃・消毒は完了。

台湾本島における産地養豚場及び本養豚場から半径3km圏内にある偶蹄類を飼育している農場（牛/山羊/鹿農場1、山羊/豚農場1、鹿農場1、山羊農場5、牛農場7）において、臨床検査と疫学調査を実施。結果は、対象動物は全て健康で臨床学的・疫学的感染の証拠は確認されなかった。

現在淘汰した肥育豚から採料した材料について追加の検査を実施中。

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	239	140	0	239	0

【診断】

- ・診断施設：Animal Health Research Institute（国立研究所）

【対象】	【検査】	【検査結果】	【診断確定日】
豚	RT-PCR	陽性	2012/1/21

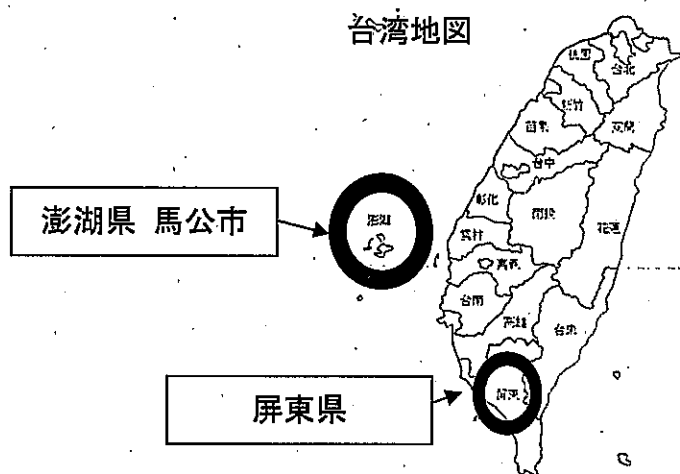
【感染源】

不明または調査中

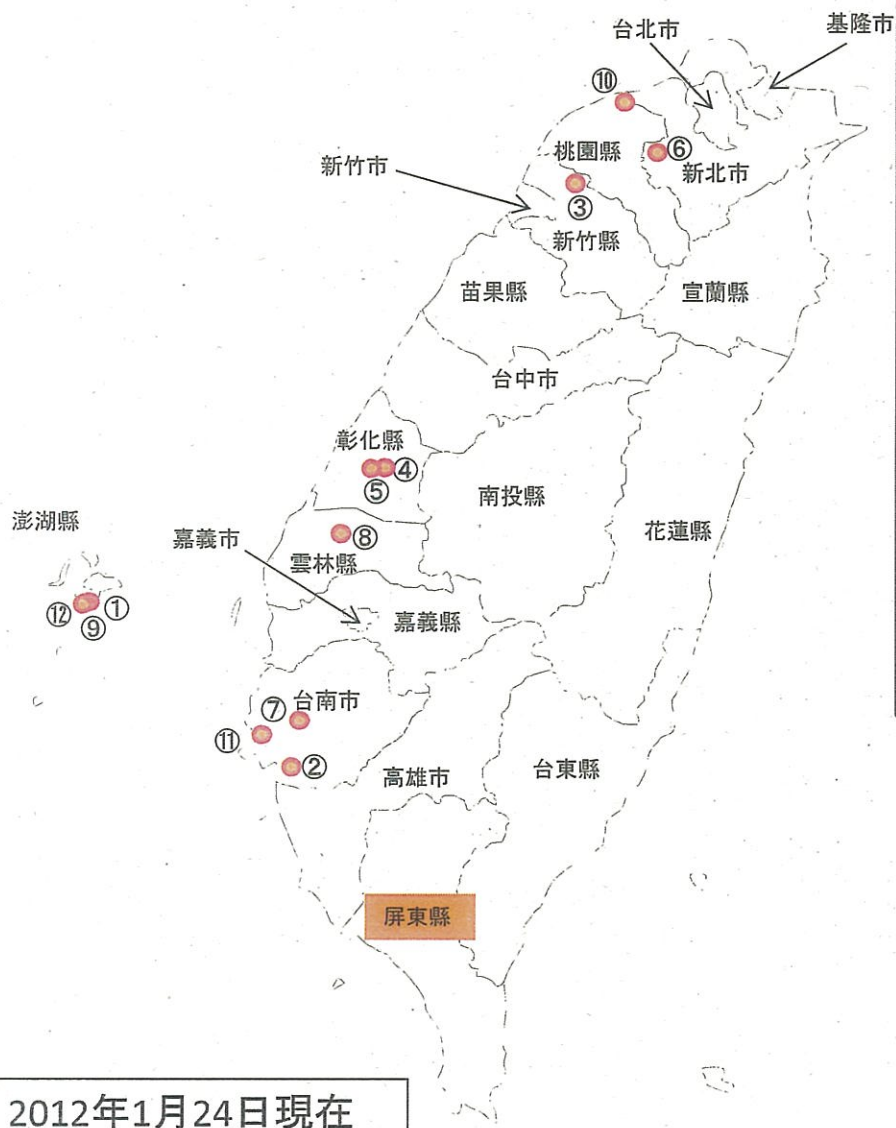
【現地当局の対応】

- ・淘汰、隔離、スクリーニング、施設等の消毒
- ・ワクチン接種しない
- ・患畜を治療対象としない

台湾地図



台湾における口蹄疫の発生状況(2011年～)



2011年			
場所	日付	血清型	臨床所見
①澎湖縣馬公市	:3月22日	(O型、豚)	○
②台南市下營鄉	:3月21日	(O型、豚)	○
③新竹縣新埔鄉	:5月6日	(O型、豚)	×
④彰化縣永靖鄉	:5月16日	(O型、豚)	×
⑤彰化縣田尾鄉	:5月23日	(O型、豚)	×
⑥新北市鶯歌区	:7月11日	(O型、豚)	×
⑦台南市Shigang区	:7月26日	(O型、豚)	×
⑧雲林縣二崙鄉	:10月19日	(O型、豚)	×
⑨澎湖縣馬公市	:10月30日	(O型、豚)	○
⑩桃園県蘆竹市	:12月7日	(O型、豚)	○
⑪台南市Beimen区	:12月19日	(O型、豚)	○
2012年			
⑫澎湖県馬公市	:1月19日	(O型、豚)	○
(導入豚は台湾本島南部屏東縣由来)			
①、⑨～⑫は、RT-PCRでも陽性が確認されている事例			

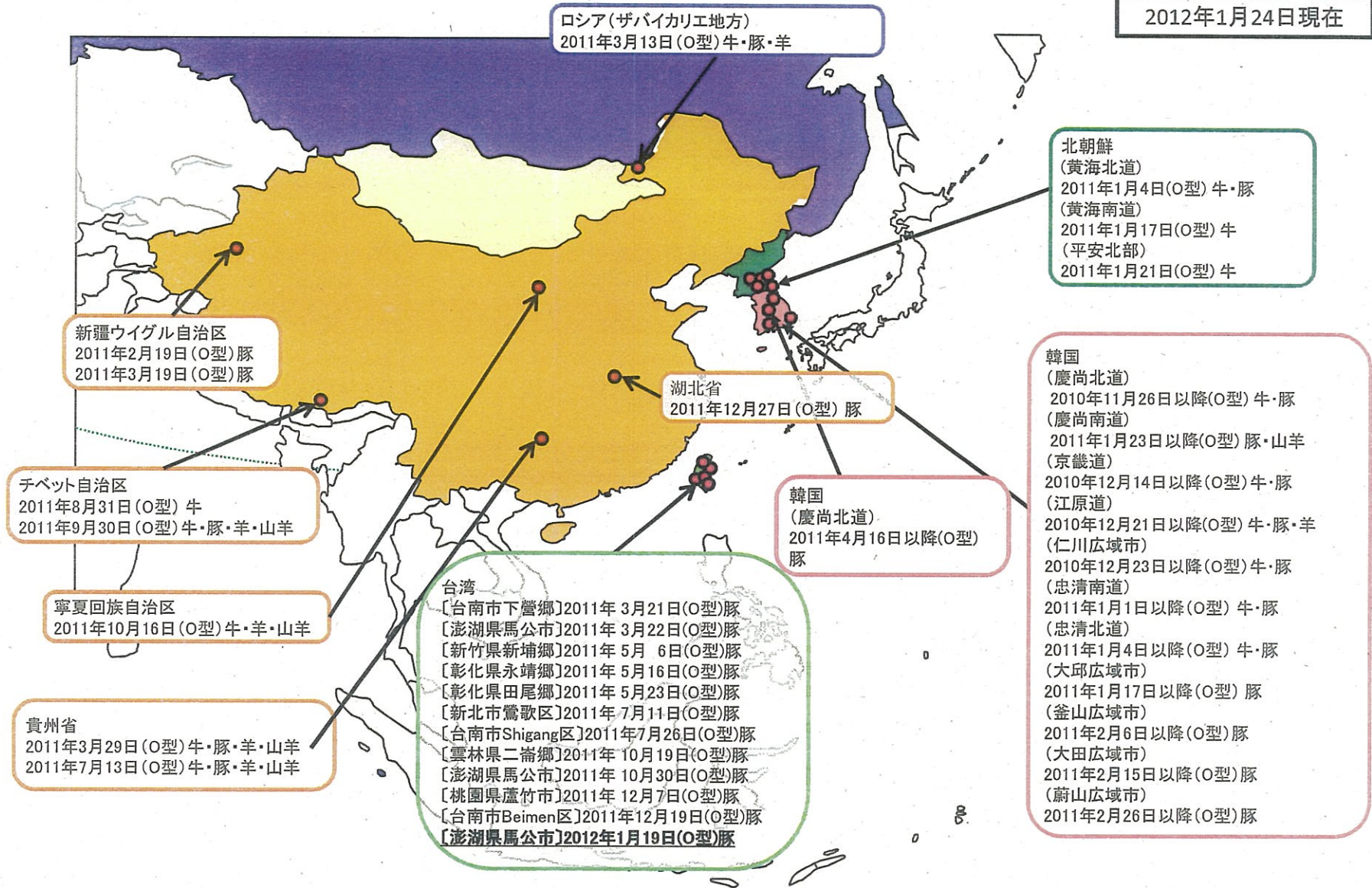
※日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)
場所 は口蹄疫確認地。

出典:OIE WAHID 他

2012年1月24日現在

中国、香港、台湾、韓国、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況 (2011年1月以降の発生)

2012年1月24日現在



※更新点: 台湾における口蹄疫 (O型) の発生 (2012/1/19)
本地図「アジアにおける口蹄疫の発生状況2010年1月以降」を、「2011年1月以降の発生地図」に更新

※ 出典: OIE ほか
※ 日付は発生日 (各々の事例が初めて観察された日)